

RMON2 Traffic Profiling Report Pack

バージョン 1.0

リリースノート



i n v e n t

RMON2 Traffic Profiling Report Pack リリースノート

ご注意

1. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
2. 当社は、本書に関して特定目的の市場性と適合性に対する保証を含む一切の保証をいたしかねます。
3. 当社は、本書の記載事項の誤り、またはマテリアルの提供、性能、使用により発生した直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害または結果損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 本製品パッケージとして提供した本書、CD-ROM などの媒体は本製品用だけにお使いください。プログラムをコピーする場合はバックアップ用だけにしてください。プログラムをそのままの形で、あるいは変更を加えて第三者に販売することは固く禁じられています。

本書には著作権によって保護される内容が含まれています。本書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き、禁止されています。

All rights are reserved.

Restricted Rights Legend.

All rights are reserved.No part of this material may copied, reproduced, or translated to another language without the prior written consent of Hewlett-Packard Company.The information contained in this material is subject to change without notice.

Use, duplication or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.227-7013 for DOD agencies, and subparagraphs (c)(1) and (c)(2) of the Commercial Computer Software Restricted Rights clause at FAR 52.227-19 for other agencies.

HEWLETT-PACKARD COMPANY
United States of America

Copyright Notices.

© Copyright 2003 Hewlett-Packard Company, all rights reserved.

Reproduction, adaptation, or translation of this material without prior written permission is prohibited, except as allowed under the copyright laws of the United States.

商標

Microsoft®、Windows®、MS Windows®、および Windows NT®は、米国 Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

UNIX®は、The Open Group の登録商標です。

その他の製品名は、それぞれの商標またはサービスマーク所有者の財産であり、これによって承認されています。

目次

範囲	4
関連ドキュメント	4
パッケージの概要.....	5
使用上の注意	5
パッケージの履歴	5
データ収集	6
このリリースでの機能強化	7
機能強化.....	7
バグ修正	7
既知の問題	8
インストールと設定	9
コア製品の前提条件.....	9
パッケージの前提条件.....	9
パッケージの解凍と展開.....	9
インストール	10
デモパッケージ.....	11
準備.....	11
プローブの設定.....	11
テクニカルサポート	13

範囲

このドキュメントでは RMON2 Traffic Profiling Report Pack および Datapipe のインストール手順について説明しています。

関連ドキュメント

- 1) 『HP OpenView Performance Insight ユーザーガイド』
- 2) 『Common Property Tables ユーザーガイド』

パッケージの概要

RMON2 Traffic Profiling レポート機能ソリューションは、ユーザーが使用状況のパターンと使用傾向を表示できるようにする、包括的な要約機能とレポート機能を提供します。このパッケージは、ネットワークの使用状況や稼動状態を示す次のインジケータが中心となっています。これらのインジケータは RMON2 の統計値から取得され、レポートによって表示されます。

- 使用率
- 全インタフェーストラフィックの割合
- バイト/パケットの総数

これらのデータは OVPI によって処理され、傾向データとしてテーブルやグラフに表示されます。その結果によって、監視対象の RMON2 プローブに関するトラフィックの発生源とトラフィックの種類が明確に示されます。

このレポートパックは、ネットワークの運用者やプランナーがネットワークの輻輳の根本原因を突き止め、容量の追加、再ルーティング、ポリシーの改善といった適切な対応を決めるのに役立ちます。また、ノードの場所やエンドカスタマなどの追加のオプション情報を準備するための公開 API が提供されています。レポートパックはこれらの「準備」データを使用して、ネットワークフローの端点に関するより詳しい情報を表示します。

使用上の注意

RMON2 Traffic Profiling Reporting Solution は次の 2 つで構成されています。

RMON2 Traffic Profiling Datapipe – RMON2 プローブからの ALMATRIX データをポーリングし、後で RMON2 Traffic Profiling Report Pack が使用できるように OVPI データベースにロードする、OVPI パッケージ。

RMON2 Traffic Profiling Report Pack – RMON2 Traffic Profiling Datapipe によって収集されたデータの要約機能とレポート機能を提供する OVPI パッケージ。このレポートパックは、ユーザーが使用状況のパターンと使用傾向をさまざまな観点から表示できるようにする、包括的な要約機能とレポート機能を提供します。

パッケージの履歴

バージョン	変更の概要
1.0	初回リリース

データ収集

RMON2 Traffic Profiling Report Pack のためのデータ収集は RMON2 Traffic Profiling Datapipe によって処理されます。

このリリースでの機能強化**機能強化**

このリリースは初回リリースです。報告されているバグはなく、明らかにされている機能強化もありません。

バグ修正

バージョン	バグ番号	説明
1.0	N/A	N/A

既知の問題

このパッケージでは Interface Reporting をインストールする必要はありません。ただし、Interface Reporting パッケージをすでにインストールしている場合は、そのバージョンが 2.0 以降であることを確認してください。それより前のバージョンでは、RMON2 Traffic Profiling Report Pack のインストールに失敗する場合があります。

インストールと設定

パッケージマネージャを使用して、このパッケージをインストールします。パッケージマネージャを実行する前に、必要なすべての配布ファイルがすでに\$DPIPE_HOME/packages ディレクトリに展開されていることを確認してください。

コア製品の前提条件

パッケージマネージャを使用してこのパッケージをインストールする前に、OVPI 4.5 と、次の Service Pack の最新版が、すでにインストールされていることを確認してください。

- OVPI 4.5 Service Pack 1
- OVPI 4.5 Service Pack 2
- OVPI 4.5 Service Pack 3
- OVPI 4.5 Service Pack 4

パッケージの前提条件

- Interface Discovery Datapipe
- Common Property Tables

パッケージの解凍と展開

次の圧縮配布ファイルを\$DPIPE_HOME 配下のパッケージディレクトリに展開します。

- Common Property Tables
- RMON2 Traffic Profiling Report Pack
- RMON2 Traffic Profiling Datapipe

圧縮配布ファイルを展開した後、\$DPIPE_HOME/packages ディレクトリを調べて、次のディレクトリが存在することを確認します。

- CommonPropertyTables
- RMON2_Traffic_Profiling
- RMON2_Traffic_Profiling _ Demo
- RMON2_Traffic_Profiling _ Datapipe

インストール

インストール中、パッケージマネージャは次を実行します。

- データテーブルとストアードプロシージャを作成
- いくつかの行を trendtimer.sched ファイルに追加
- 各種のファイルを packages ディレクトリから\$DPIPE_HOME にコピー

RMON Interface Report Pack および Datapipe をインストールするには、次の手順を実行します。

1. trendadm としてログインします。
2. trendtimer を停止します。
3. OpenView Performance Insight を起動します。メインの Performance Insight ウィンドウが開きます。次の中から選択します。
 - Package Manager
 - Discover
 - Polling Policy Manager
 - Table Manager
4. [Package Manager]を選択します。Performance Insight の[Package Manager]ウィンドウが開きます。
5. [Next]をクリックします。[Install OVPI Packages]ウィンドウが開きます。
6. [Install]ラジオボタンをクリックします。
7. デフォルトのディレクトリを承認するか、別のインストールディレクトリを選択します。必要に応じて参照機能を使用します。
8. [Next]をクリックします。[Deploy Setup for Performance Insight Packages]ウィンドウが表示されます。
9. デフォルトを受け入れてレポートを配布します。デフォルトのアプリケーションサーバーおよびポートを受け入れます。OVPI ユーザー名とパスワード(初期設定を変更していなければ trendadm/trendadm)を入力します。
10. [Next]をクリックします。[Install OVPI Packages]ウィンドウが開きます。
11. 次のパッケージのチェックボックスをダブルクリックします。
 - CommonPropertyTables

- RMON2_Traffic_Profiling
- RMON2_Traffic_Profiling_Demo
- RMON2_Traffic_Profiling_Datapipe

12. [Next]をクリックします。[Installation Summary]ウィンドウが表示されます。

13. [Install]ボタンをクリックしてインストールプロセスを開始します。完了バーが画面下に表示され、進捗が示されます。

14. インストールプロセスが完了すると、[Run trend_discover]ダイアログが表示されます。[Yes]を選択し、trend_discover を直ちに実行します。

15. [OVPI packages Install Complete]ウィンドウが開きます。

16. [Finish]をクリックしてパッケージマネージャを閉じます。メインの OVPI ウィンドウが開きます。

17. trendtimer を再起動します。

手順 13 の実行中に問題が発生した場合は、[Details]ボタンをクリックしてログビューアにアクセスすることで問題に関する詳細を確認できます。ログビューアの内容に基づいて問題を修正することができない場合は、テクニカルサポートに連絡してください。

デモパッケージ

上記を参照してください。

準備

RMON2 Traffic Profiling Report Pack 内のレポートでは、Interface Reporting Report Pack からのカスタム属性が継承されます。

プローブの設定

RMON2 Traffic Profiling Datapipe では、RMON プローブの次の設定が前提となります。

- hIMatrixControlTable
 - hIMatrixControlTNIMaxDesiredEntries=4000
 - hIMatrixControlTAIMaxDesiredEntries=8000
 - hIMatrixControlTStatus=active
- alMatrixTopNControlTable
 - alMatrixTopNControlRateBase=alMatrixTopNTerminalsPkts

```
alMatrixTopNControlTimeRemaining=900
```

```
alMatrixTopNControlRequestedSize =400
```

```
alMatrixTopNControlStaus=active
```

RMON2 プローブを設定するための便利なユーティリティも提供されています。このユーティリティ configAlMatrix.pl は、
\$DPIPE_HOME/RMON2_Traffic_Profiling_Datapipe/RMON2_Traffic_Profiling_Datapipe.ap にあります。

コマンドラインから次のようにして実行します。

```
configAlMatrix.pl -a [probe_host_name]
```

テクニカルサポート

次の HP OpenView の Web サイトを参照してください。

<http://openview.hp.com/> (英語)

<http://www.hp.com/jp/openview/> (日本語)

このサイトには、HP の提供する製品、サービス、サポートについてのお問い合わせ先や詳細が掲載されています。[サポート]をクリックすると HP OpenView のサポートページに移動します。このページから次の情報を参照できます。

- ダウンロード可能なマニュアル
- トラブルシューティング
- ソフトウェアパッチ
- 問題報告
- トレーニング
- サポートニュース